

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 SNOW PLUM	代表者	毛利 友紀	法人・事業所の特徴	介護保険事業として訪問介護、通所介護、居宅介護支援事業所を併設。独自事業として介護タクシー、再度山には民泊施設 神戸一里山別邸を展開。自社厨房で調理した手作りの食事、地域の方との交流、外出活動を通し心身の健康が図れるよう取り組んでいる。
事業所名	PLUMの里 サテライト諏訪山	管理者	毛利 宗玄		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	1人	1人	1人	2人	人	2人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	事業所自己評価内容は定期的に確認していく。	定期的に改善計画については皆で取り組んでいるが、まだまだ未解決課題は多い。	急ぎ改善に向けて9テーマから優先度を考えて出来る事からやっていくべきでは。	引き続き、事業所自己評価内容は優先度を考えて定期的に確認していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	季節感を感じられる環境作りを努める。	旬の野菜や園芸を通じて季節感を出せた。	畑など環境面は充実している。交通の便以外は問題ない。	引き続き、季節感を感じられる環境作りを努める。
C. 事業所と地域のかかわり	近隣の方との関りを増やしていく。	特定の近隣住民との関わりは増えた。	自治会がないのが問題では。	地域に対して、積極的に事業所の情報を発信する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	感染対策をしながら、外出機会を増やせる。地域のイベントも積極的に参加する。	餅つきを行い、地域の方との親睦、利用者と地域との交流の場は作れた。	特に意見はなかった。	利用者本人の望む暮らしや地域との関わりを調べる。
E. 運営推進会議を活かした取り組み	地域の心配の方の事例検討を行う。	一部の利用者について事例検討を行った。	事例検討は積極的に行うべきではとの意見あり。	ご利用様の困難事例について事例検討を行う。
F. 事業所の防災・災害対策	自衛消防訓練の参加できる体制を作っていく。	地域の方が自衛消防訓練の参加できていなかった。	災害対策について、交通の便を考えて対策を考える必要ありとの意見あり。	引き続き、自衛消防訓練の参加できる体制を作っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7年 12月 6日 (14:00~15:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 毛利友紀・須藤海・吉村陽子・千原義則・加藤めぐみ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	3人	人	人	5人

前回の改善計画
介護サマリーと事前聞き取り用紙を活用する。
利用当初は、本人も不安を抱えています。本人が困っている事や不安な事を受け止め、「通い」や「訪問」等の場面で、本人への気遣いや配慮、スムーズに他の利用者との会話に繋がるような「つなぎ」を積極的に支援する。

前回の改善計画に対する取組み結果
まずは声掛けに始まり、つなぎを意識した日常的な関わりを共通の課題とすることで信頼関係の構築、不安感の低減には一定の改善が見られた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	4			5
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	1	2		5
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3	2			5
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	1	1		5

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ご利用者様との信頼関係構築や傾聴を意識したケアは出来ている。理由としては、利用開始時の必要とされる援助の把握や目的の確認、家族も含めて情報収集を心掛けている事が考えられる。積極的な声掛けを全員共通で取り組んだ事も重要である。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・家族との情報共有に置いては不十分な事もあったと思われる。理由としては、引継ぎの不徹底が考えられる。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
・通いと訪問の業務における違いを意識する。双方の業務理解と利用者の積極的自立につながる課題抽出について、初期支援の段階から意識してストーリーのあるケアに取り組む。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7 年 12 月 6 日 (14 : 00 ~ 15 : 00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 毛利友紀・須藤海・吉村陽子・千原義則・加藤めぐみ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	3人	1人	人	5人

前回の改善計画
ケアプラン回覧の徹底と目標とすることを理解し支援に活かしていく。
認知症や障害により、自らの意思を表現できない方についても支援の目標を明確にする。

前回の改善計画に対する取組み結果
支援目標は明確になってきたが、支援そのものに活かすところで改善の余地がある。属人的な個別化やケアの複雑化、特に認知症対応の面では具体的支援方法を改善したい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	4		1		5
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		5			5
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	4			5
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	3	1		5

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・いつでも利用者様のしたい事を介護スタッフにわかるようにしている。
・ケアプランに基づいて情報を得、会話を通じて人間関係が作られている、気持ちを尋ねるできるだけ不快な思いにならないように本人の心のうちを理解するようにしている。
・利用者様のしたい事をスタッフミーティングなどで発信し、取り組めるようにしている。ケアプランの中で意見にない事を本人様のしたいという声にて検討。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用者様の目標をあまり完遂していませんでした。自分の目的が上手くできない。
・個々の目標を把握できていないため「～したい」が出来ていない
・本人様の目標を職員が把握できてない。
・認知症の方には、その時その時の要望は分かっても、長期的なニーズなどは把握するのが難しい。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
意思決定支援をテーマに、意思の創出、意思の表明、自己実現と着実なステップアップを行う。また認知症者の権利擁護の視点も加えて、より具体的な「～したい」を目指す。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7 年 12 月 6 日 (14 : 00～15 : 00)

3. 日常生活の支援

メンバー 毛利友紀・須藤海・吉村陽子・千原義則・加藤めぐみ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	1人	2人	人	5人

前回の改善計画
「以前の暮らし方」が10個以上把握する。
「変化」にきづくためには、日々のかかわりや介護記録を記載する。

前回の改善計画に対する取組み結果
利用者ごとに具体的に10個という所は難しかった。変化について、どの程度から記録するのか、その重要性など職員間で温度差があり共通の認識に出来ないところがあった。日常生活の評価方法を見直すきっかけにしたい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	2	1	2		5
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	3			5
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		4	1		5
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4	1			5
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4	1			5

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者様の話の中で以前の仕事や昔の事を話したりしている、利用者様の不満に思っている事など聞く様に努めている。
・変化があった場合、共有しチェックを出来ている、情報も介護記録で記入し、共有し、その人にあった介護はできている。
・ケアプラン・サマリーなどで目を通して。常に少しの変化も心掛けている。できる事をご本人の意思でして頂く事。
・「変化」にきづくためには、皆と相談し情報も介護記録に記載出来ている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用者様の以前を把握10個はできていない。記入の際に多少ではあるが情報が抜けている事がある。
・なかなか利用者様の言われている事が理解できない事がある。
・ご本人の気持ちを理解できないところがある。
・その場しのぎの対応に終わってしまうことがある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
日常生活の評価の基準を設ける。また、個別のライフスタイルをケースカンファレンスなどで共有し介護記録への落とし込みを行って、ナラティブなケアを目指す。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7 年 12 月 6 日 (14 : 00～15 : 00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 毛利友紀・須藤海・吉村陽子・千原義則・加藤めぐみ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	3人	1人	人	5人

前回の改善計画
地域の資源を把握しながら、今までの暮らしを継続的に支援する。

前回の改善計画に対する取組み結果
地域に対する理解度はあがったが、継続的な関わりを持つ、希薄になった関係性について再構築する事が難しい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	3	2			5
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	4			5
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	2	2		5
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		4	1		5

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・新規利用者についてはカルテやケアマネジャー等から状況把握したり必要時の直接把握を確認している。
・出来るだけ今の生活が悪くならないようにはできている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・本社利用者や接点の少ない利用者の経過が把握しづらい。
・事業所外では把握が不十分。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
地域との関係性を構築し、必要不必要に関わらず連携情報を共有していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7 年 12 月 6 日 (14:00 ~15:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 毛利友紀・須藤海・吉村陽子・千原義則・加藤めぐみ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	2人	1人	人	5人

前回の改善計画	コロナ禍での地域資源の有効に活用。 利用者ニーズに合わせて柔軟的な対応していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	個別での地域資源活用や柔軟な対応は取り組んでいるが継続的な支援が難しい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	3	1		5
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1	4			5
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	2	2	1		5
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4	1			5

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当、適切に提供されている。 ・緊急時へ対応、利用者様が良いと思われる事はできる。泊まりへの対応。 ・本人の状態が生活態度などを通じて変化があればすぐに対応されるよう、情報交換している。 ・本人より病院行きたい。この時間に外に出ますなど、要望があれば、本人の体調が問題なければ許し又それに協力している。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングの時の情報共有・参加できてない方への共有し、記録の受けとめに少し、認識の違いがある。 ・その日のニーズに合わせて、柔軟な支援ができているかどうかわからない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
多機能を活用した利用者本位の支援について、記録やエビデンスを積み上げて継続性を増やす。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7 年 12 月 6 日 (14:00 ~15:00)

6. 連携・協働

メンバー 毛利友紀・須藤海・吉村陽子・千原義則・加藤めぐみ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	人	2人	1人	5人

前回の改善計画	地域の各種機関の活動やイベントに参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域関係者との交流を増やすことが出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	3	1	1		5
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	2	1	1	1	5
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1	2	1	1	5
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1	1	2	1	5

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・地域の各種機関の活動やイベントに参加する。・その他のサービス期間との会議に参加された方から情報を得る事出来ている。・職員は地域の清掃活動に参加できている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・コロナ禍以降、地域ケア会議などが十分に出来ていないです。・この件については会議などしているのか、十分な情報共有がされていない為わからない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
地域連携・協働先を増やす。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7 年 12 月 6 日 (14 : 00 ~15 : 00)

7. 運営

メンバー 毛利友紀・須藤海・吉村陽子・千原義則・加藤めぐみ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	1人	1人	2人	5

前回の改善計画	地域と協働した取り組みができるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	新しい取り組みはできなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	2	3			5
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	3			5
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		2	2	1	5
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?		2	1	2	5

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">利用者・家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映している。連絡意見や苦情などはスタッフと共有し合い、運営に反映できると思います。利用者・介護者からの意見や苦情を上司に相談する事が出来ている。苦情が出た際しっかりと情報伝達、その上で、又、対応する様に出来ている。利用者様のご家族様からの意見や要望はミーティング時に報告などあり、それに沿った様に出来ている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">地域の方からの意見や苦情を聞ける事が出来てない。地域との連携が出来ていない。日頃あまり関係性を持っていない。積極的に地域と協働した取り組みを行っていない。地域の方の意見を聞いていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
地域イベントを企画、もしくは参加する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7 年 12 月 6 日 (14 : 00 ~15 : 00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 毛利友紀・須藤海・吉村陽子・千原義則・加藤めぐみ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	3人	1人	人	5人

前回の改善計画	研修 (職場内・職場外) は多くの職員に参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果	全員ではないが参加メンバーを増やせた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	3	2			5
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	2	2		5
③	地域連絡会に参加していますか	1	1	1	2	5
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		3	2		5

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・スキルアップの為の勉強はしている。・職場内での研修は基本的よく出来ている。・研修があった時は参加する事が出来ている。・職場内の研修はほとんど参加しています。ヒヤリハットの再防止に取り組んでいます。・個人として目標を立て、質の向上するためヒヤリハットをもとにリスクマネジメントを取り組み、スタッフ間に共有する事。・ヒヤリハットなど記入はできている。研修も必要最低限はできている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・資格取得の研修には情報は入っているが参加できていない。・研修の参加できていなかった。・地域活動の参加が出来ていないです。・地域連絡会・リスクマネジメントについて、よく理解していない。・地域連絡会に参加していなかった。職場外研修への参加は出来ていません。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
連絡会、研修会の参加率を 100%にする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7 年 12 月 6 日 (14 : 00 ~15 : 00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 毛利友紀・須藤海・吉村陽子・千原義則・加藤めぐみ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	2人	1人	人	5人

前回の改善計画	成年後見制度についての勉強会を行う。 定期的に虐待予防とプライバシー保護の勉強会を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	成年後見は出来なかったが、虐待及びプライバシーに関する勉強会は実施できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	5				5
②	虐待は行われていない	5				5
③	プライバシーが守られている	5				5
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	3		1	5
⑤	適正な個人情報の管理ができています	5				5

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・身体拘束・虐待についてはミーティング・研修など出来ている。・全てにおいて出来ている。虐待防止の為の研修、虐待に繋がる行為はしていません。・拘束や虐待の勉強会はしている。・身体拘束はしていない。虐待は自分自身していないつもり。・人権プライバシーなどは守られている。・徘徊を無理に止めないで見守る事。夜間のリズムを把握する事。スタッフの関わり方、言葉遣いなど今一度見直す事が出来ている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・成年後見制度については分からないです。・成年後見制度を理解していない。・「少し、待って下さい」など規制の言葉をうっかり使ってしまう事。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
成年後見制度について有識者からの研修を企画する。	